

# 「不屈の心」を活用した 道徳の時間の指導事例

「楽しみ発見の心」	肝付兼太	(小学校 下学年用)
「絵かきになりたい」	吉井淳二	(小学校 下学年用)
「学問に生きる」	丹下梅子	(小学校 下学年用)
「『ホラふき』とよばれても」	今村明恒	(小学校 下学年用)
「ふるさとへの祈り」	泊 如竹	(小学校 上学年用)
「新しい芸術を求めて」	有馬生馬	(小学校 上学年用)
「海が好き」	今給黎教子	(小学校 上学年用)
「夢を追いかける」	川崎宗則	(小学校 上学年用)
「世界に響くタケミツ・トーン」	武満 徹	(中学生用)
「『故郷もどき』の鹿児島で」	向田邦子	(中学生用)
「伝えたいこと」	椋 鳩十	(中学生用)
「芸能文化の振興のために」	白井松次郎, 大谷竹次郎	(中学生用)
「かごしま黒豚の父」	園田兵助	(中学生用)
「志をもって生きる」	松寿院	(中学生用)
「あきらめなかった仙右衛門」	小野仙右衛門	(中学生用)
「いにしえの道を」	島津忠良, 新納忠元	(中学生用)

指導事例作成においては、次の委員の協力を得ています。(順不同)

西 村 幸 一 委員	鹿児島市立石谷小学校	教諭
當 房 芳 朗 委員	霧島市立陵南小学校	教諭
池 下 龍 郎 委員	始良市立建昌小学校	教諭
才 川 文 秋 委員	鹿児島市立紫原小学校	教諭
吉 盛 仁 智 委員	鹿児島市立紫原中学校	教諭
白 田 真 澄 委員	長島町立長島中学校	教諭
今 村 圭 委員	鹿児島市立武中学校	教諭
寛 山 大 樹 委員	始良市立加治木中学校	教諭

「楽しみ発見の心」  
肝 付 兼 太

(対象：小学3年生)

(出展「不屈の心（小学校下学年用）」p1～p6)

1 主題名 「楽しみ発見の心」

2 ねらいと資料名

(1) ねらい 1－(5) 個性伸長，向上心

自分の長所や短所を見つめた上でよさを伸ばしていくことの大切さを知り，様々な活動の中に楽しさを見つけて積極的に自分の世界を広げようとする心情を育てる。

(2) 資料名 「楽しみ発見の心」(関連資料 私たちの道徳 小学校3・4年 p46～p53)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値【価値観】

個性の伸長とは，自分のよさを生かすことであり，自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。自分の特徴とは，他と比べて特に自分の目立つ点であり，長所だけではなく短所も含むものである。その両面を見いだす中で，短所や不得意なものを努力によって望ましい方向へ改め，自分のよさを一層伸ばしていくことが大切にされなくてはならない。

この段階においては，児童が多様な個性や生き方に触れる中で自分の特徴に気付くようにしたり，友達との交流の中で認め合う場をつくったりして，よい所を伸ばそうとする意欲を引き出すことが求められる。

(2) 児童の実態【児童観】

3年生は，家庭や学校のみならず地域の施設や行事，人々に興味を示すなど社会活動能力が広がっていく。その中で，仲間や身近な人を意識して自己の在り方をきめる傾向も強くなっていく。

しかし，多様な他者と比較しつつ自分の特徴をうまく捉えることができない児童も多く見られる。

そこで，自分のよい所や気になる所について，「あいさつ」や「仕事」，「整理整頓」など具体例を挙げながら見つけたり，よい所を伸ばした先人の姿を通してよい所の見つけ方や伸ばし方に気付かせたりしていく必要がある。

自分のよい所を伸ばそうとする心情を育てるために，道徳の時間以外の指導としては以下のようなものがある。

ア 社会科

「ものをつくる仕事」に関する学習では，自分が住む地域の工業製品や農作物を作る人々の工夫や努力について調べたりまとめたりする。その中で仕事に誇りを持ち，楽しみながら生活をする人々の姿にも触れさせていくようにする。

イ 総合的な学習の時間

3年生では，郷土に関する課題を追究する活動が多く組まれている。郷土の人々

の様々な個性や生き方に触れる中で、自ら課題を発見し、直接見たり聞いたり触れたりする体験活動を通して、自分のよさを伸ばそうとする心情を徐々に育てられるようにする。

### (3) 資料について【資料観】

本資料は、鹿児島市に生まれ、「楽しみ発見の心」で苦勞を乗り越えて、アニメ[ドラえもん]のスネ夫役の声優を26年間演じた肝付兼太さんについて書かれたものだ。

本資料の中で、焦点化する場面は3つある。まず、おとなしくはずかしがりやだった兼太少年が人前で表現することの喜びを知る場面。次に、声優になろうと努力するが役がもらえず生活が苦しかった場面。最後に、オバケのQ太郎のゴジラ役を自分らしい話し方で演じたことで認められ、スネ夫役も任されるようになった場面である。これら3つの場面における兼太の行為と兼太を取り巻く状況を明確に捉えさせ、そのときの心情や大切にしたい考えを追究していくことで、自分のよさを見つけ伸ばしていこうとすることのすばらしさに気付かせていく。

## 4 指導の展開にあたって

### (1) 事前に資料を読ませるポイント

本資料を事前に次の視点で読ませ、感想をもたせておくようにする。

ア 視点1：主人公の苦勞や努力が分かるところ

イ 視点2：主人公の行動や考えがすばらしい（すごい）と思うところ

### (2) 取り上げる場面と指導内容

取り上げる場面	ページ	指導内容
おとなしくはずかしがりやだった兼太少年が人前で表現することの喜びを知る場面	2	卒業式の出し物として発表した落語がお客さんに喜ばれた時に、兼太少年が気付いた自分の認識の変化（苦手なことが喜びに変わったこと）を理解させる。それによって「楽しみ発見の心」の芽生えに気付かせる。
声優を目指して努力するが役がもらえず苦しかった場面	3 ～ 4	5年間でドラマの役がたった2回だったことや給料がわずかで仲間も次々にやめていくなど、厳しい状況での兼太青年の苦しい心情を想像的にとらえさせ共感させる。
オバケのQ太郎のゴジラ役を自分らしい話し方で演じたことで認められスネ夫役も任されるようになった場面	4 ～ 6	一度は「全然面白くない」と評価された役を、「ぼくらしく、ふだんの会話、アドリブ」によって大笑いに変えた兼太さんが大切にしたい「楽しみ発見の心」をとらえさせる。それによって、自分の特徴を自覚して自分らしさを発揮することの大切さに気付かせる。

## 5 授業の展開

### (1) 本時

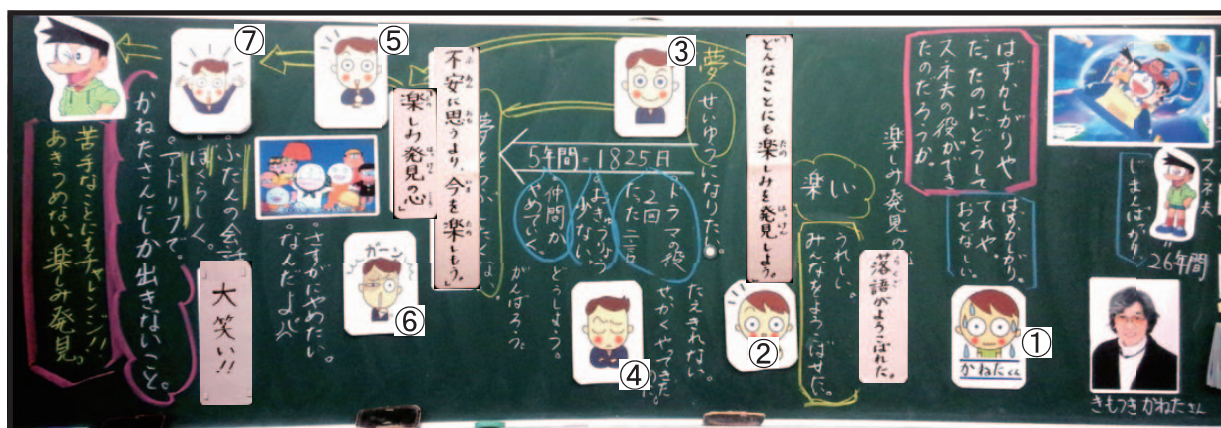
過程	主な学習活動等	時間	主な発問(T)と予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
導入	1 スネ夫の声優を26年間続けた肝付兼太について知る。	(分)	T このアニメ知ってるかな。 ・ ドラえもん。	○ 子どもの興味関心を高めるためにドラえもんの絵等を提示。 ○ スネ夫のよくない点だけを板書してお
		3	T スネ夫はどんな子ですか。 ・ じまんばかりする。 ・ のび太に意地悪をする。	

導入	<p>2 めあてを立てる。</p> <p>恥ずかしがり屋だった兼太さんはどうしてスネ夫の声優ができるようになったのだろう。</p>	<p>T ドラえもんの仲間のスネ夫の声優は、鹿児島出身の肝付兼太さんです。子どもの頃、恥ずかしがり屋でおとなしかったそうですよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恥ずかしがり屋なのにアニメの声をするのが不思議。</li> </ul>	<p>く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題意識を高めるために、肝付兼太がおとなしかったことを伝え、なぜ有名な声優になれたのか考えさせる。</li> </ul>
展開	<p>3 資料を読み、肝付兼太の心情や心情の変化について話し合う。</p> <p>(1) 表現する喜びを知った兼太の心情について考える。</p> <p>(2) 声優になろうと努力するが役がもらえず苦しい生活を送っているときの兼太の心情について考える。</p> <p>(3) ゴジラ役で成功</p>	<p>30</p> <p>T 落語の出し物が喜ばれたとき兼太くんはどんな気持ちになったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もっとみんなを喜ばせたい。</li> <li>・ どんなことにも楽しみを発見しよう。</li> </ul> <p>T 大きくなった兼太さんはどんな夢を見つけましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来、声優になること。</li> </ul> <p>T 声優を目指した5年間（1825日間）で兼太さんにどんなことが起きましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドラマの役が2回だけ。</li> <li>・ お金は少し。仲間がやめていく。</li> </ul> <p>T こんな状況の中で兼太さんはどんなことを考えたのでしょうか。</p> <p>(まず、あきらめに近い心情から意図的指名で発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仲間がやめていくから私もやめようかな。</li> <li>・ こんな生活耐えきれない。</li> </ul> <p>T こんな気持ちになるのは分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よく分かる。</li> <li>・ 自分もそうなりそう。</li> </ul> <p>T このままでは夢にたどり着かないね。</p> <p>(夢をあきらめない考えを意図的指名で発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ でも、声優になるためにがんばろう。</li> <li>・ 不安に思うより、今を楽しもうと考えた。</li> </ul> <p>T 「楽しみ発見の心」が兼太さんを支えたようだね。</p> <p>T やっと声優になれたのに、</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が苦手としていた「人前で表現すること」が喜びに変わっていく変化をめぐり絵式の表情絵を変化させることで捉えやすくする。</li> <li>○ 兼太の5年間（1825日間）の苦しい状況を把握させるために、資料文を読み返させる。</li> <li>○ 兼太の人間らしい迷いに共感させたり夢に向かう強い思いに気付かせたりするために、ワークシートを活用してあきらめに近い心情と夢に向かって努力しようとする心情の両方が書けるように机間指導する。（資料中には、あきらめの心情は書かれていないので想像的に捉えさせる。）</li> <li>○ 「楽しみ発見の心」が兼太をずっと支えていることを捉えさせる。</li> <li>○ 何度も壁に突き当</li> </ul>

展開	し、スネ夫役も任せられるようになった兼太さんが大切にしたことについて考える。	<p>「全然おもしろくない。」と言われてどう思ったかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さすがにやめたい。</li> <li>・ なんなんだ。</li> </ul> <p>T どうやって「大笑いに変えたのかな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぼくらしくアドリブで。</li> </ul> <p>T めあてをふり返ってみましょう。恥ずかしがり屋だった兼太さんが夢を実現できたのはどんなことを大事にしたからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦手なことにもチャレンジする。</li> <li>・ 最後まで夢をあきらめない。</li> <li>・ 楽しみ発見の心もち続ける。</li> </ul>	<p>たる時の心の弱さを捉えさせた上で、自分らしさを発揮することでさらに乗り越えていく兼太のたくましさにも気付かせる。</p> <p>○ 兼太が大切にした心構えを捉えさせるために、小グループで話し合わせる。話し合いに教師が介入して考えを引き出しながら、道徳的価値が理解できるようにする。</p>
	4 自分の気になる所とよい所を考え、自分発見カードに書く。	10 <p>T 一番初めにスネ夫は自慢ばかりで意地悪だと言いましたが、いいところはないのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仲間が危ないときには助けにくる勇気がある。</li> </ul> <p>T みなさんも自分発見カードを作ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のよい所が見つけれない。</li> </ul> <p>T 小グループで友達のよい所を教え合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あなたのいいところは…。</li> </ul>	<p>○ スネ夫を例にして自分発見カードの書き方を理解させる。</p> <p>○ 「私たちの道徳」p.46-47を参考に具体的に自分の特徴を考えさせる。よい所は見つけにくいので、グループで教え合わせるようにする。</p> <p>○ 自分発見カードは掲示して課題意識の持続を図る。</p>
終末	5 自分の特徴を知ってよさを伸ばしていこうとする心情を高める。	2 <p>T ドラえもん仲間たちのようにみんなもよい所を出し合うことで…。</p>	<p>○ 一人一人のよい所を出し合うことでみんなが伸びていけることを伝える。</p>

## (2) 板書

ア 板書の実例（番号はめくり絵の順番で表情が変化していく）



### (3) 学習活動の様子（教材の工夫）



【児童のワークシート】



【自分発見カード】



【めくり絵方式の表情絵】

## 6 実践後の評価

- 資料を事前に読んで感想をもたせることで、あらすじをつかませることができた。しかし、内容理解については個人差があるため、主人公のおかれた状況や主人公の行為などについて黒板に構造的にまとめたり、心情を追究するために表情絵を提示したりした。それによって児童の道徳的価値の理解を深めることができた。
- 世界的にも有名な「ドラえもん」に関する内容なので、子どもの関心は高い。その点を生かして、導入では子ども自身の経験等から入るのではなく、資料中の写真等から入った。子どもの興味を引いて関心を高めるだけでなく、短い時間で問題意識を高めることができた。
- 「不屈の心」を活用するに当たって、考えさせることを明確にするための表情絵を作成した。特に下学年においては、表情絵を活用することで主人公の置かれた状況や行為を具体的に把握させ、その背景にある道徳的価値観（心情や心情の変化）を追究することができた。本実践においては、肝付兼太の表情絵をめくり絵方式にして状況に応じて変化させていくことで、心情の変化まで明確に把握させることができた。また、表情絵は吹き出しを付けてワークシートに活用したり、お面にして役割演技に活用したりすることで、児童一人一人の道徳的価値観を広げたり深めたりすることもできると考える。
- 個性伸長、向上心の価値に迫る際に、主人公が夢に向けてもち続けた心構えを一人では深く考えることが難しい。そこで、小グループでの話し合い活動を設定して教師が介入し、「苦手なことに進んでチャレンジすること」「最後まであきらめないこと」「どんなことにも楽しみを発見しようとする」と自分のよさを伸ばしていくことについて理解を深めさせていった。
- 実態調査から、この期の児童は自分の気になる所は数多く上げることができるが、自分のよい所については自覚できていない場合が多いことが分かっていた。そこで、小グループ内でお互いのよい所を教え合う活動を設定した。自分のよい所を他者から肯定的に評価されたことで、どの児童も笑顔になり、肯定的な自己理解とよりよい個性伸長による自己形成の意欲を高めていくことが分かった。

「絵かきになりたい」  
吉井 淳二

(対象：小学2年生)

(出典：「不屈の心（小学校下学年用）」p13～p18)

1 主題名 「いちずな思い」

2 ねらいと資料

(1) ねらい 3－(3) 敬虔

心を打たれるような美しいものに触れ、感動を味わいながら、自分の感性を育て心  
情を豊かにし、すがすがしい心をもとうとする心情を育てる。

(2) 資料名 「絵かきになりたい」

(関連資料 わたしたちの道徳 小学校1・2年 p115)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値【価値観】

美しいものや崇高なもの、人間の力を超えたものとのかかわりに関するものであり、  
それらに対して感動する心や畏敬の念をもった児童を育てようとするのがねらいで  
ある。

科学が万能であるかのような錯覚を生みかねない今日の社会において、科学の発展  
を期待し理性の力を信じるとともに、人間の説明を超えた美への感動や、気高いもの  
や崇高なものに対する尊敬や畏敬の念をもち、人間としての在り方を見つめ直すこと  
が求められている。

この段階においては、児童の生活の中に存在している身近な自然の美しさや心地よ  
い音や音楽などに触れて夢を描き、物語などに語られている美しいものや清らかなも  
のに素直に感動するような体験を通して、すがすがしい心をもつように指導していく  
必要がある。

(2) 児童の実態【児童観】

この時期の児童は、童話やおとぎ話の世界に心から入り込み、楽しむことができる  
純真さや豊かな感受性をもっている。また、自然と対話したり、小さなことにも敏感  
で、大人が気づかずに通り過ぎてしまうようなことにも目を向け、感動を伝えたり表  
現したりすることがある。

そこで、様々な美しいもの、崇高なものに数多く触れさせるようにし、感動する場  
を積極的に与えることが必要である。そして、その体験を思い起こさせ、感動の意識  
化を積み重ねることで、感性を磨き、さらに豊かに育てていくことが大切である。

美しいものや崇高なもの、人間の力を超えたものとのかかわりに関するものであり、  
それらに対して感動する心や畏敬の念をもった児童を育てるために、「道徳の時間」  
以外の指導としては、次のようなものがある。

ア 国語科

教材文「スーホの白い馬」は、モンゴルに伝わる民話をもとにした物語である。  
スーホと白馬の心の交流を軸に、馬頭琴という楽器が作られた経緯が語られている。  
スーホと白馬の絆、自分勝手な殿様によって離れ離れになった二人の悲しみ、白馬  
の死を乗り越えてさらに絆を深めていく二人の姿がある。スーホは死んだ白馬の体  
から作った馬頭琴を弾き、楽しかった頃を思い出す。白馬が楽器に形を変えてスー  
ホと一緒に居られるという二人の絆の深め方は、印象深いものである。

### (3) 資料について【資料観】

吉井淳二，1904年に鹿児島県曾於郡末吉町に生まれた。幼い頃より，数々の作品に触れ，絵画への興味を日々募らせていった。東京美術学校へ入学し，洋画科を卒業した。二科展での活躍が中心だった吉井淳二は，その功績が認められ，1961年には二科展の理事に就任した。その後も精力的に作品制作を続けて行き，1965年には日本芸術院賞を受賞した。1976年には，日本芸術院会員就任，1979年には社団法人二科会理事長就任など，美術界を支える立場として活躍を続けていった。満100歳を迎えた2004年11月に眠るように息を引き取った。100歳のときでも作品を発表するなど，常に美術へと向き合い続けた人生であった。日本の洋画家として，一時代を築いた重鎮，吉井淳二の歩んだ道が，本資料には描かれている。

美しいものや気高いものに触れる心とは，自分がこれまでに経験しなかった新たな驚きや発見があったときに生じると考える。「絵かきになりたい」という夢を忘れずに追いつけた淳二の絵画への憧れを児童に追体験させ，人の心や自然といった美しいもの，気高いものなどに触れさせたい。また，淳二の作品からも，人や自然の美しく崇高なものを触れさせたい。これらのことを通して，美しいものや気高いものに感動する経験を重ね，心が豊かになっていくと考える。

本資料は，2年生の児童では，淳二の行動や行為を自分の実体験として共有できない部分もある。そこで，まとめの活動の中で「わたしたちの道徳 小学校（1・2年）」を活用する。美しいと感じたり，不思議だなと感じたりしたことを，家庭でも絵や文でまとめさせ，その気持ちを大切に思う気持ちを高めさせる。

## 4 指導の展開にあたって

### (1) 事前に資料を読ませるポイント

本資料は，道徳の時間の1単位時間で扱うことを考えると文章量（一読10分程度）が多いため，事前に次の視点で読ませておくようにする。

ア 視点1：淳二が「絵かきになりたい」という夢を追いつけているところ

イ 視点2：淳二が苦勞したり悩んだりしているのが分かるところ

### (2) 取り上げる場面と指導内容

取り上げる場面	ページ	指導内容
いつでもどこでも，馬の絵を描くことが大好きな淳二	13 ～ 15	父親に反対されようとも，絵を描くことが大好きで，馬の絵を描き続ける淳二の思いを話し合わせる。
祖母とともに父を説得し，美大に進み，画家となっていく淳二	15 ～ 18	心をどきどきさせる絵に出会い，絵かきになる夢をどんどん膨らませる淳二，祖母に応援されながら父を説得した淳二，優れた画家になった淳二の様子を話し合わせる。
今のわたしたちに伝えたいメッセージ	18	「わたしはただ絵をかくことが好きだった。小さいころからの絵かきになりたいという夢をずっと大切にしてきた。」と語る淳二のメッセージについて話し合う。



## 5 授業の展開

### (1) 本時

過程	主な学習活動等	時間	主な発問(T)と予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
導入	<p>1 美しいものについて話し合う。</p> <p>(1) 生活体験の中 (2) 吉井淳二の絵画</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>うつくしいものとは、どのようなものなのか、考えよう。</p> </div>	7	<p>T これまでに、美しいと感じたものがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花ってきれいです。</li> <li>・ きれいな夕日を見ました。</li> <li>・ 強そうな馬です。</li> <li>・ 白い洋服がきれいです。</li> </ul>	<p>○ 事前のアンケートを活用し、ねらいとする価値に迫り、意識を高める。</p> <p>○ 吉井淳二について、簡単に補足・説明する。 (吉井淳二の写真や生まれた場所を提示する。)</p>
展開	<p>3 資料「絵かきになりたい」のあらすじを確認しながら読み、淳二の考えや気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) 父親に反対されようとも、絵を描くことが大好きで、馬の絵を描き続ける淳二の思いを話し合わせる。</p> <p>(2) 心をドキドキさせる絵に出会い、絵かきになる夢をどんどん膨らませる淳二、祖母に応援されながら父を説得した淳二、優れた画家になった淳二の様子を話し合わせる。</p>	36	<p>T みんなと一緒に話し合いたいところを発表しよう。</p> <p>T 誰からも褒められないのに、淳二はなぜ絵を描き続けたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 馬の絵を描くのが好きだからです。</li> <li>・ 地面でも、どこでも絵が描けるからです。</li> <li>・ 学校で描いた馬の絵が教室に飾られたからです。</li> <li>・ 楽しいからです。</li> </ul> <p>T 画家になることをゆるしてもらおうと、粘り強く父親に話をする淳二の気持ちを話し合おう。</p>	<p>○ 感じたことや気づいたことを自由に発表させる。</p> <p>○ 淳二の置かれた状況（父親が絵を描くことを反対している。）を考えさせ、淳二の気持ちを共感的にとらえさせる。</p> <p>○ 心をドキドキさせた病院の絵との出会い、勇気を出し父親を説得し許しを得たときの喜びを共感的にとらえさせる。</p>
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>(ドキドキさせる絵)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素晴らしい絵に出会えた。</li> <li>・ いろんな絵が見たいと思った。</li> <li>・ 絵かきになるという夢がふくらんだ。</li> </ul> </div>		<p>&lt;父親へ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勇気を出して打ち明けた。</li> <li>・ 反対された。</li> <li>・ 父親は子供の将来を心配していた。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>(粘り強く話し合う)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おばあちゃんの応援、嬉しいな。</li> <li>・ おとうさん、ありがとう。</li> <li>・ これからだ、がんばるぞ。</li> </ul> </div>

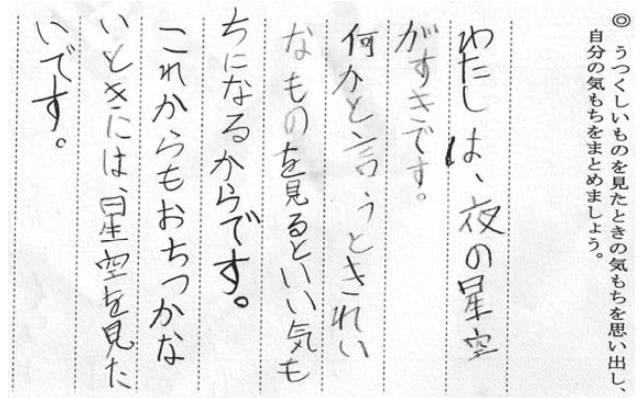
展 開	(3) 淳二からのメッセージについて話し合う。	<p>T 淳二は、みなさんにどんなことを伝えたいと思ったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夢を大切にしましょう。</li> <li>・ 自分が思ったことをいつまでもがんばることだと思います。</li> <li>・ いつまでも、素晴らしい絵が描きたいと思っています。</li> </ul> <p>T 美しいものについて、もう一度思い起こし、自分の気持ちを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童玄関の登校中の子供たちの絵を見ると、元気が出てきます。</li> <li>・ おじさんが、信号機に立って見守ってくれて、うれしいな。</li> </ul>	<p>○ 絵を描く喜びをもっと上手な絵を描きたいという思いを大切にしたい淳二の生き方を感じ取らせながら、美しいものへの憧れを共感させる。</p> <p>○ 自分の身の周りにも、美しいものがたくさんあることの素晴らしさを味わわせる。</p>
	4 これまでの自分を振り返り、本時の学習を通して、気付いたり生かしたりしたいと思った見方や考え方についてまとめ、話し合う。	<p>T 美しいものを家でもまとめ、父母につたえましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ にじはとってもきれいだったよ。</li> <li>・ 皆既月食のとき、月がだんだん欠けていくのは、すごかったな。</li> </ul>	<p>○ 家庭でも、美しいと感じたり、不思議だと感じたりしたことを、絵や文でまとめさせ、意欲を高める。</p>
終 末	5 「わたしたちの道徳」(p115)に、美しいものをまとめる。	2	

## (2) 板書



### (3) 学習の様子

ワークシートをまとめている様子



ワークシート（生活を振り返る。）

## 6 実践後の評価

- 実践授業では、導入の段階で吉井淳二の作品を児童に見せた。「本物の馬のようです。」「足が太くて、強そうな馬です。」「色使いがきれいです。」「女の人がいっぱい、何をしているのかな。」という様々な感想を導き出した。美しいものとして淳二の作品をとらえることができ、児童の意欲が高まった。
- 主人公の気持ちを話し合った後で、自分だったらどうするかという意思決定をさせたことは、児童が自分の課題として捉えさせるために有効であった。また、役割演技によってその場で実践したり見たりすることで、より美しいものを追いつける淳二の気持ちを深く考えさせることができた。さらに、淳二からのメッセージを考えさせ、夢を追いつけた淳二の心の支えである「心をどきどきさせる絵」の実現のために、誰もが美しいと感じる絵を描くために、努力を続けていることを感じ取っていった。
- 友達の生活経験を追体験することで、美しいものに間接的に触れることができ、すがすがしい気持ちをもつことができたようである。この気持ちを共有することこそ、美しいものを尊敬する気持ちへとつながると考える。
- 終末の段階では、「わたしたちの道徳」を活用し、美しいと感じたり、不思議だと感じたりしたことを、絵や文でどのようにまとめるかを話し合った。家庭でも、美しい花の感触やキリンの大きさへの驚きなど、何気ない自分の生活体験の中で経験していることを、保護者と一緒に振り返えらせることができた。

『わたしたちの道徳』より



#### 《児童の感想》

- ・ うつくしいものは、そのへんにもあるんだと思いました。また、見つけたいです。

# 「学問に生きる」 丹下 梅子

(対象：小学2年生)

(出典：「不屈の心（小学校下学年用）」p25～p30)

## 1 主題名 「かんしゃする心」

## 2 ねらいと資料

### (1) ねらい 2-(4) 尊敬・感謝

自分が多くの人に支えられていることに気付き、その人々に尊敬と感謝の気持ちをもって接していこうとする心情を育てる。

### (2) 資料名「学問に生きる」

(関連資料 「わたしたちの道徳」小学校1・2年 p87)

## 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値【価値観】

広く人々や自己の生活の成り立ちに対する尊敬と感謝の念をもった児童を育てようとするのがねらいである。よい人間関係を築くためには、互いを認め合うことが大切である。人々に支えられ助けられて自分が存在するという認識に立つとき、互いに尊敬と感謝の念が生まれてくる。それは、日々の生活や自分が存在することに対する感謝へと広がり、生命尊重や人間尊重の精神を支えることにつながる。

この段階においては、日常の指導などにおいて、身近で日ごろ世話になっている人々の存在に気付かせる。それらの人々の善意に感謝する気持ちを具体的な言葉に表し、行動に表すことができるようにすることが求められる。

### (2) 児童の実態【児童観】

この時期の児童は、友達に何かを手伝ってもらうと、「ありがとう。」と、すぐに返事を返す。それは、親や教師の躰からくるものが多く、本人の意思や自覚から発せられたものとは言えない。また、少子化時代に育っている児童は、家族・学校・地域の人々から受ける世話を、当然のこととして受け止めている。

そこで、身近で世話をしてくれる人々に改めて目を向けさせ、その人々に感謝することの重要性に気付かせることが大切である。また、自分が感じた感謝の気持ちを自覚し、身近な人々に言葉や行動で表すことが大切である。

自分を支えている人々に尊敬と感謝の気持ちをもって接していこうとする心情を育てるために、「道徳の時間」以外の指導としては、次のようなものがある。

#### ア 国語科

「お手紙」の学習では、ちょっぴりわがままで自分勝手ながまくんと、一生懸命相手に優しい言葉をかけるかえるくんと、心の通い合いの大切さをとらえさせることができる。「私はお姉さん」の学習では、妹かりんが起こした事件に対し、姉すみれは怒りを感じるが、自分の気持ちを抑えることができたことにより、すみれの心の変容（成長）をとらえさせることができる。お互いを思い合うことが、相手を大切にすることにつながることを読み取ることができる。

#### イ 特別活動（学級活動）

「男の子、女の子」「友だちをふやそう」「私のこまっていること」等の取り組みを通して、仲良くすることや人に優しくすることのすばらしさを考えさせ、実践意欲を高めていく。

### (3) 資料について【資料観】

本資料は、明治時代に鹿児島市金生町に生まれ、日本初の女子帝国大学生、日本初の女性農学博士となった丹下梅子の生涯についてまとめたものである。彼女が生きた時代、まだ男尊女卑の風潮が強く、女性が研究に生きることは大変な苦労があったが、持ち前の粘り強さと探究心で乗り越え、女性化学者の道を切り開いた丹下梅子が描かれている。

本資料の中で、梅子が学業でくじけそうなとき、姉であるハナが必ずかかわってくる。梅子にとって、ハナは自分を支えてくれる大切な存在である。この存在を児童に生き生きととらえさせるために、資料を3つの場面に分けた。様々な困難の中、勉強を続けていく梅子と彼女を支える姉が描かれている場面、勉強を続けることの大切さを姉から気付かされる梅子が描かれている場面、姉から教わった勉強の楽しさを生涯追い続ける梅子が描かれている場面である。梅子と姉とのかかわり合いの中で、梅子が学者になるという夢を実現できたのは、姉であるハナの支えであり、励ましであったと思う。その場面を児童に話し合わせ、よりよい人間関係を築いていくためには、日ごろから世話になっている人々に対して、尊敬と感謝の気持ちをもって接することの大切さを考えさせることができる。

本資料は、2年生の児童では、梅子の行動や行為を自分の実体験として共有できない部分もある。そこで、まとめの活動の中で「わたしたちの道徳 小学校(1・2年)」を活用する。身近な人々で「ありがとう」の気持ちを伝えたい人、お世話になっていること、気持ちを伝えるためにしてみたいことにまとめさせ、その気持ちを表現する意欲を高めさせる。

## 4 指導の展開にあたって

### (1) 事前に資料を読ませるポイント

本資料は、道徳の時間の1単位時間で扱うことを考えると文章量(一読10分程度)が多いため、事前に次の視点で読ませておくようにする。

ア 視点1: 梅子が苦労したり悩んだりしているのが分かるところ

イ 視点2: 梅子がハナの話聞いて、自分のことを考えているのが分かるところ

### (2) 取り上げる場面と指導内容

取り上げる場面	ページ	指導内容
様々な困難の中、勉強を続けていく梅子と彼女を支える姉	25 ～ 26	「女が学問をするなんて。」という人が多かった時代に、右目を失っても姉のハナとともに勉強も遊びもがんばる梅子について考えさせる。
勉強を続けることの大切さを姉から気付かされる梅子	27 ～ 28	師範学校時代、勉強が身に入らなくなった際、姉のハナが話す勉強の楽しさを聞き、考えを改めた梅子の気持ちの変容を話し合わせる。
姉から教わった勉強の楽しさを生涯追い続ける梅子	29 ～ 30	勉強の楽しさを再度味わうために、女子大学や帝国大学に入学し、地道に努力を続け、アメリカ留学そして農学博士となった梅子について話し合う。

5 授業の展開

(1) 本時

過程	主な学習活動等	時間	主な発問(T)と予想される児童の反応(・)	指導上の留意点			
導入	<p>1 自分たちが世話になっている、身近な人々について話し合う。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日ごろお世話になっている人に、「ありがとう」と言うためには、どんな気持ちが大切だろうか。</p> </div>	<p>(分)</p> <p>7</p>	<p><b>T 家や学校、地域で、どんな人たちに、どんなお世話を受けていますか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お母さんが、食事を作ってくれる。</li> <li>・ お兄ちゃんが、宿題を見してくれる。</li> <li>・ おじさんが、横断歩道に立って見守ってくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前のアンケートを活用し、ねらいとする価値に迫り、意識を高める。</li> <li>○ 丹下梅子について、簡単に補足・説明する。(丹下梅子の写真を提示する。)</li> </ul>			
展開	<p>3 資料「学問に生きる」のあらすじを確認しながら読み、梅子の考えや気持ちを姉の思いと対比させながら、話し合う。</p> <p>(1) 様々な困難の中、勉強を続けていく梅子と彼女を支える姉の気持ちを考える。</p> <p>(2) 勉強を続けることの大切さを姉から気付かされる梅子の気持ちを考える。</p>	<p>30</p>	<p><b>T みんなと一緒に話し合いたいところを発表しよう。</b></p> <p><b>T 梅子は、右目を失っても元気よく遊びや勉強に頑張れたのは、なぜだろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姉であるハナが応援してくれたから。</li> <li>・ 草や木の実から色を取り出し、遊んでいたからです。</li> <li>・ 工夫して、天秤を作っていたから。</li> <li>・ 楽しそうにやっていたから。</li> </ul> <p><b>T 勉強が身に入らなくなった梅子、姉のハナが勉強の楽しさを話すことで考えを改める梅子、彼女の気持ちの変わり方について話し合おう。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感じたことや気づいたことを自由に発表させる。</li> <li>○ 姉と母との会話を取り上げ、姉の気持ちを共感的にとらえさせ、梅子の心情を追求させる。</li> <li>○ 梅子を支えている姉の存在をきちんととらえさせ、梅子の気持ちの変容を共感的にとらえさせる。</li> </ul>			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>(怠ける梅子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親と離れてさびしかったから。</li> <li>・ 友達と夜おそくまでおしゃべりをしたから。</li> </ul> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>&lt;ハナからの励まし&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飽きっぽいくせを直すこと。</li> <li>・ 今日習ったことは必ず見直しをして、その次に明日習うことを勉強すること。</li> </ul> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <p>(改める梅子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これで、勉強が楽しくなるぞ。</li> <li>・ どんどん勉強を続けていくぞ。</li> <li>・ どんなときでも、努力を続けるぞ。</li> </ul> </td> </tr> </table>					<p>(怠ける梅子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親と離れてさびしかったから。</li> <li>・ 友達と夜おそくまでおしゃべりをしたから。</li> </ul>	<p>&lt;ハナからの励まし&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飽きっぽいくせを直すこと。</li> <li>・ 今日習ったことは必ず見直しをして、その次に明日習うことを勉強すること。</li> </ul>	<p>(改める梅子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これで、勉強が楽しくなるぞ。</li> <li>・ どんどん勉強を続けていくぞ。</li> <li>・ どんなときでも、努力を続けるぞ。</li> </ul>
<p>(怠ける梅子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親と離れてさびしかったから。</li> <li>・ 友達と夜おそくまでおしゃべりをしたから。</li> </ul>	<p>&lt;ハナからの励まし&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飽きっぽいくせを直すこと。</li> <li>・ 今日習ったことは必ず見直しをして、その次に明日習うことを勉強すること。</li> </ul>	<p>(改める梅子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これで、勉強が楽しくなるぞ。</li> <li>・ どんどん勉強を続けていくぞ。</li> <li>・ どんなときでも、努力を続けるぞ。</li> </ul>					

展 開	(3) 姉から教わった勉強の楽しさを生涯追い続ける梅子の気持ちを考える。		<p>T 梅子がずっと学問の道に進むことができたのは、なぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勉強することが大好きだったから。</li> <li>・ 姉であるハナの応援があったから。</li> <li>・ お父さんやお母さん，家族の応援があったから。</li> </ul> <p>T お世話してくれる人たちについて，もう一度思い起こし，自分の気持ちを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お母さんが，食事を作ってくれて，ありがとう。</li> <li>・ お兄ちゃんが宿題を見てくれて，やさしいな。</li> <li>・ おじさんが，横断歩道に立って見守ってくれて，うれしいな。</li> </ul>	<p>○ 周りの人の理解と支えの中で，常に前向きに学問を続ける梅子の生き方を，共感的にとらえさせる。</p> <p>○ 自分を支えてくれる周りの人々に感謝の気持ちをもつことの素晴らしさを味わわせる。</p>
	4 これまでの自分を振り返り，本時の学習を通して，気付いたり生かしたりしたいと思った見方や考え方についてまとめ，話し合う。			
終 末	5 「わたしたちの道徳」に，「ありがとう」の気持ちをまとめる。 (P87)	8	<p>T 「ありがとう」の気持ちをまとめ，伝えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ できることから，親切をはじめようかな。</li> <li>・ こんなことも，親切なんだ。</li> </ul>	<p>○ 「ありがとう」の気持ちを伝えるために，自分でしてみたいこともまとめさせ，意欲を高める。</p>

## (2) 板書



### (3) 学習の様子

資料を読み込んでいる様子

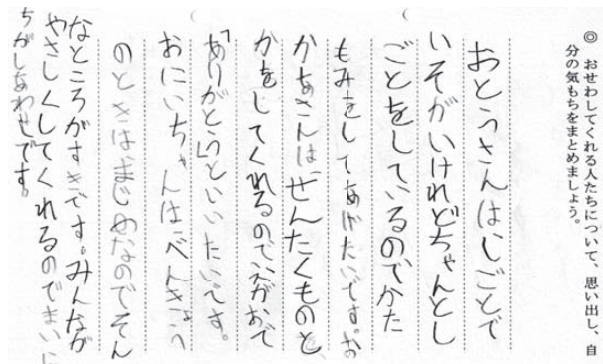
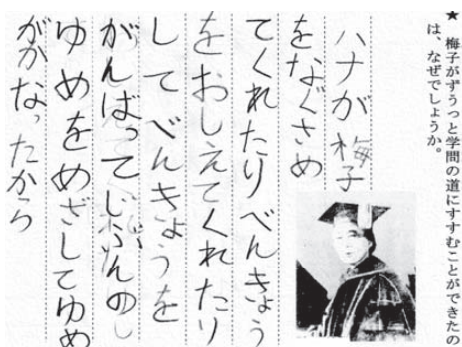


ワークシートにまとめている様子

## 6 実践後の評価

- 実践授業では、導入の段階で自己の体験活動を想起させる場面を設けた。実際の児童の「どんな人たちに」「どのような世話を」という経験を紹介することで、本時のねらいを身近なこととしてとらえさせることができ、児童の実践意欲が高まった。
- 資料に入り込ませ、本時でねらう価値への方向付けをするために、導入では、丹下梅子の写真や、梅子の年表を見せた。また、授業展開はすべて教師の読み語りを進め、場面絵を用いて資料の流れが児童に分かりやすく、印象残るものになるよう工夫したことにより、児童は、価値についてじっくりと考えることができ、道徳的価値の自覚を深めていった。
- 展開の段階では、ワークシートの吹き出しに言葉を書き込ませ、友達との意見交換や役割演技を行い、周りの人たちのよって梅子が生き生きと学問に打ち込めたことに気付かせることができた。また、常に、尊敬と感謝の心をもつことが人間関係を良好にさせることにも気付かせることができた。
- 終末の段階では、『わたしたちの道徳』を活用し、より実践的になるように、どのような行動や行為ができるかをまとめさせた。翌日の日記に、「お母さんにありがとうを言ったよ。」「お父さんの肩たたきをしたよ。」というものがあり、実践意欲の高まりが感じられた。

ワークシート（梅子の気持ち）



ワークシート（生活を振り返る）

#### 《児童の感想》

- ・ うめこさんががんばれたのは、やさしいおねえさんのハナさんがいたからですね。そんなおねえさんがほしいです。
- ・ いろいろな人にまもられています。ひとりひとりに、「ありがとう」をいいたいです。



「『ホラふき』とよばれても」  
今村明恒

(対象：小学2年生)

(出展「不屈の心（小学校下学年用）」p31～36)

1 主題名 「正しいことは勇気をもって」

2 ねらいと資料名

(1) ねらい 1－(3) 勇気

自分のためだけではなく、周りの人にとってもよいと思われる行いをする大切さに気づき、恥ずかしがったりものおじしたりすることなく勇気をもって正しいことをしようとする心情を育てる。

(2) 資料名 「『ホラふき』とよばれても」(関連資料 私たちの道徳小学校1・2 p.33～ p.43)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値【価値観】

人としてやってよいこと、社会通念としてしてはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。同時に、より積極的で健康的な自己像をイメージできるようにすることも大切である。そのためには、勇気を原動力とした積極性が必要である。

この段階においては、やってよいこととしてはならないことが区別できる力を養うとともに、よいと思ったことを遠慮せず勇気をもって進んで実践できるような励ましや援助を大切にされた指導を行う必要がある。

(2) 児童の実態【児童観】

この期の児童は、まだ集団生活に慣れていないために、引っ込み思案になったりものおじしたりすることも少なくない。そのため、よいと思ったことでも提案したり実践したりすることができない場合が少なからずみられる。

そこで、「ホラふき」とよばれながらも正しいと思うことを実践した今村明恒の行動や考えのすばらしさについて追究する活動を通して、恥ずかしがったり、ものおじしたりすることなく勇気をもって正しいと思うことをしようとする心情を育てる。

道徳の時間以外の指導としては以下のようなものがある。

ア 特別活動

学級活動などの話し合い活動を通して、学級における諸問題を解決していく中で、自分の考えをもち、正しいと思うことを勇気をもって発言できるようにする。

イ 生活科

グループで協力して飼育をしたり栽培をしたりする体験活動を通して、友達にしてあげると喜ぶことや自分がされるとうれしいことなどを実感できるようにする。

(3) 資料について【資料観】

本資料は、これまでの地震の起こり方の研究から関東地方での大きな地震を予知した今村明恒（鹿児島市出身）が「ホラふき」と呼ばれながらも、防災の準備の必要性を呼びかけ続けた様子が書かれたものである。

本資料の中で、児童に考えを深めさせる場面は3つある。まず、明恒が関東地方での大きな地震を予知して発表した場面。次に、周りの人から「ホラふき」と呼ばれるようになったときの場面。最後に、「ホラふき」と呼ばれてもなお地震の研究を続け防災の必要性を呼びかけ続けた場面である。これら3つの場面における明恒の行為と彼を取り巻く状況を明確に捉えさせ、そのときの心情や大切にしたい思いを追究していくことで、自分のためだけではなく、周りの人にとってもよいと思われる行いを勇気をもってすることの大切さに気付かせていくようにする。

なお、「防災」という言葉は低学年児童には難解なので、「避難訓練」という言葉に置き換えて指導を進めるようにする。

#### 4 指導の展開にあたって

##### (1) 事前に資料を読ませるポイント

本資料を事前に次の視点で読ませ、感想をもたせておくようにする。

ア 視点1：主人公の苦労や努力が分かるところ

イ 視点2：主人公の行動や考えがすばらしい（すごい）と思うところ

##### (2) 取り上げる場面と指導内容

取り上げる場面	ページ	指導内容
明恒が関東地方での大きな地震を予知して発表した場面	32	明恒は長い期間地震の起こり方についての研究を続けてきたことを把握させる。その上で、地震がいつ起こるか分からないということや防災（低学年児童には「避難訓練」に置き換えて指導）によって人々の命を守ることが大切だという明恒の考えに気付かせる。
周りの人から「ホラふき」と呼ばれる場面	33	防災意識が高まらない悔しさや孤独になる悲しさなどの悩みや苦しみを想像させることで、明恒の心情を共感的に受け止められるようにする。
「ホラふき」と呼ばれてもなお防災の必要性を呼びかけ続けた場面	34	自分が防災を呼びかけることについて、自信をもち続けることや多くの人々の生命を守るために必要だということ、あきらめずに呼びかけ続けることなど、明恒の心構えに気付かせる。

#### 5 授業の展開

##### (1) 本時

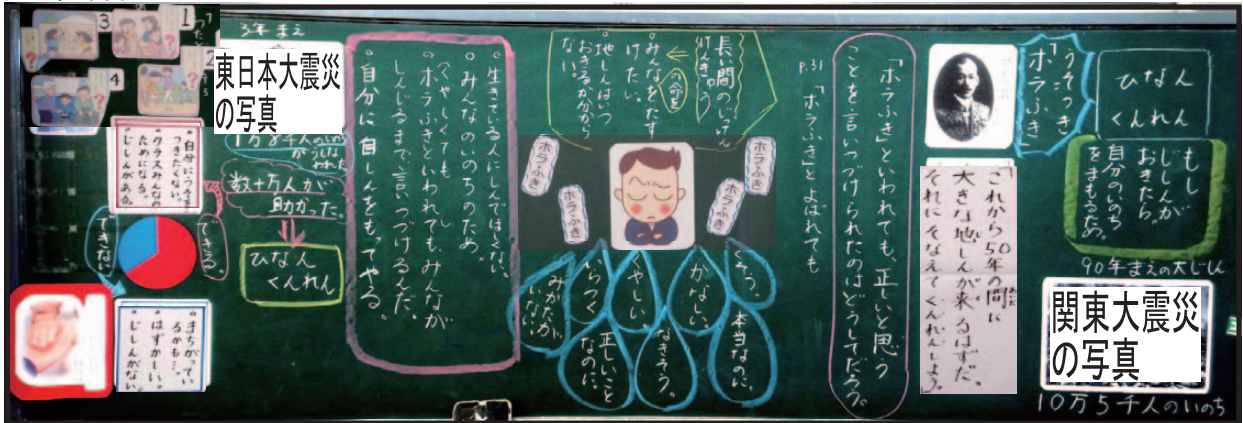
過程	主な学習活動等	時間	主な発問(T)と予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
導入	1 ホラふきと呼ばれながらも避難訓練の必要性を呼びかけた明恒について知る。	(分) 5	T 避難訓練は何のためにしているのかな。 ・ もし地震が起こった時に、自分たちの命を守るため。	○ 児童の関心を高めるために学校行事の避難訓練の写真を提示する。 ○ 課題意識を高めるため、関東大震災の写真を提示して被害状況を伝える。その後、今村明恒の地震予知の言葉を提示しホラふきと呼ばれた状況を把握させる。
	2 めあてを立てる。 ホラふきとよばれても正しいと思うことを言いつづ		T この地震の前から避難訓練を呼びかけていたのが、鹿児島出身の今村明恒さんです。でも、明恒さんは、	

	<p>けられたのはどうしてだろう。</p>	<p>みんなからホラふきと呼ばれてしまいました。</p>	
<p>展開</p>	<p>3 資料を読み、今村明恒心情の変化について話し合う。</p> <p>(1) 明恒が地震の予知と避難訓練の必要性を発表した理由を考える。</p> <p>(2) 周りの人から「ホラふき」と呼ばれていたときの明恒の心情を話し合う。</p> <p>28</p> <p>(3) 「ホラふき」と呼ばれても、避難訓練の必要性を呼びかけ続けた明恒が大切にしたい思いについて考える。</p>	<p>T 明恒さんはどうして「これから50年の間に大きな地震が来る。避難訓練が必要だ。」と発表したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震はいつ起こるか分からないから。</li> <li>みんなの命を助きたいから。</li> </ul> <p>T 周りの人たちは、どんな気持ちで「ホラふき」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京に大きな地震なんか来ないぞ、ホラふき。</li> <li>あんたの言うことは間違ってるぞ、ホラふき。</li> </ul> <p>T みんなから「ホラふき」と呼ばれた明恒さんはどんな気持ちになっているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>悲しい。悔しい。</li> </ul> <p>T 何が悲しかったり、悔しかったりするの隣同士で話し合ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いつか地震が来るのは本当なのに分かってもらえないこと。</li> <li>避難訓練をするのは正しいことなのに誰も聞いてくれないこと。</li> </ul> <p>T 「ホラふき」と呼ばれながらも、明恒さんが「避難訓練をしよう。」と言いつづけられたのはどんな考えがあったからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今、生きている人たちに死んでほしくない。</li> <li>みんなの命を守るため。「ホラふき」と言われてもあきらめないで言いつづけるんだ。</li> <li>長い間研究してきたから自分に自信をもつんだ。</li> </ul>	<p>○ 児童の内容理解を深めるために、難しい言葉や状況の補説を入れながら資料範読を行う。</p> <p>○ 事前に「ホラふき」と書いたカードを準備しておく。みんなから「ホラふき」と言われる明恒に自我関与させるために、教師が補助しながら、児童に「～だぞ、ホラふき」と言わせて明恒の顔の周りに晴らせる活動を設定する。</p> <p>○ 「悲しい」や「悔しい」などの奥にある心情については、ペアで話し合わせる。それによって明恒の悩みや苦しみを共感的に受けとめられるようにする。</p> <p>○ 「ホラふき」と呼ばれても、避難訓練の必要性を呼びかけ続けた明恒が大切にしたい思いをじっくりと考えさせるために、時間を十分にとってワークシートに書く活動を設定する。</p> <p>○ めあてと対応させながら、本時で追究</p>

展開	(4) 明恒が呼びかけ続けた避難訓練の大切さを再認識する。	<p>T (めあてをふり返って) 正しいと思うことを言いつづけるためには、自分のことだけでなく周りの人のことも考えたり、自信をもってあきらめずに続けることなどが大切なんですね。</p> <p>T 90年前に本当に大きな地震が起こってしまい、ついに避難訓練が行われるようになりました。3年前の東日本大震災では1万8千人もの方々の命が失われてしまいました。ただ、毎年避難訓練を続けてきた東北の多くの方の命が助かったことも忘れてはいけませんね。</p>	<p>した道徳的価値を一般化して、自分の生活に生かせるようにする。</p> <p>○ 明恒の正しい行いが90年以上たっても忘れられずに生かされていることを伝える。</p>
	4 これまでの自分をふり返り、正しいと思うことを判断し実行しようとするの気持ちよさを味わう。	10 <p>T みなさんが正しいと思うことをできるかどうか円グラフにまとめました。できない理由には、恥ずかしい…などがありました。この気持ち分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分かる。だれでもある。</li> </ul> <p>T 分かっててもなかなかできないので、これも訓練してみましょう。次の①～④の絵を見てどうすることが正しいことだと思いますか。一枚選んで、どんなことをしたり言ったりするのが正しいと思うかワークシートに書いてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ① みんなが集中できないから話したらだめだよ。</li> <li>・ ② 町がゴミだらけになるから自分がゴミを拾う。</li> <li>・ ③ 人のお家に落書きしたらだめだよ。</li> <li>・ ④ 「どうぞ。」と言ってゆずってあげたい。</li> <li>・ こんな風にできたら気持ちよさそうだ。</li> </ul>	<p>○ 実態調査から、正しいと思うことができる・できないの割合を円グラフで示し、理由も明示して自分たちの実態を容易に捉えることができるようにする。</p> <p>○ 「わたしたちのどうとく」 p. 34~35の絵を4つ提示し、正しいと思う行為を判断したり、実際の行為を想定させたりすることで実践意欲を高めさせるようにする。</p> <p>① 授業中におしゃべりをしている人に気付いた絵</p> <p>② 公園にゴミが落ちているのに気付いた絵</p> <p>③ 道路脇の壁に落書きをしている人に気付いた絵</p> <p>④ 電車で杖をついたお年寄りが立っているのに気付いた絵</p>
終末	5 「わたしたちのどうとく」の詩の読	T よいことをするととても気持ちがいいよ…。	○ 「わたしたちのどうとく」 p. 32~33の詩

終末	み聞かせを聞いて課題意識を高める。	2	「よいと思ったことはどんな小さいことでもするがいい。武者小路実篤」	を拡大提示し、余韻をもって終われるようにする。
----	-------------------	---	-----------------------------------	-------------------------

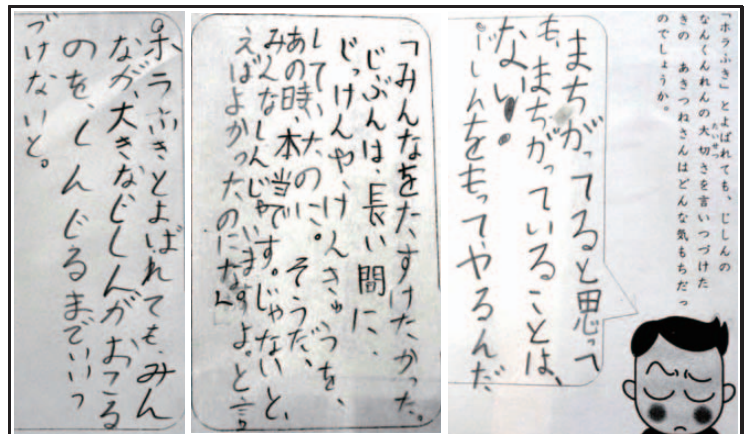
(2) 板書例



(3) 学習活動例



【友達の考えを真剣に聞く姿】



【子どものワークシート】

6 実践後の評価

- 防災という言葉については、避難訓練という言葉に置き換えて認識させることで、スムーズに授業を進めることができた。
- 2年生の発達段階を考慮して、話し合ったり考えたりする場面を3場面だけにするすることで、主人公の置かれた状況や行為を具体的に把握させ、その背景にある道徳的価値を追究させることができた。
- 指導方法の工夫として、明恒が「ホラふき」と言われる場面では劇化を、「ホラふき」と呼ばれているときの心情を深く考える時には話し合い活動を、避難訓練の必要性を呼びかけ続けたときの思いをじっくり考える時にはワークシートに書く活動を取り入れた。下学年児童においては15分間に1回程度の五感を働かせる活動がある方が集中力が持続し、思考が深まると考える。

《児童のワークシートの記述の一部》

避難訓練の必要性を呼びかけ続けたときの思いについて

- ・ 避難訓練をしてなかったら、どこに逃げればいいのか分からないから。
- ・ たくさんの人の命を守りたいから言い続ける。「ホラふき」って言われてるけど、気持ちを分かってほしい。研究をしたから、がんばって自信をもってやる。
- ・ みんなを助けて、家族も悲しまないようにしたい。